

「身を切る改革」の先頭に 議員定数削減案を提出

共産、
立民などの
反対で
否決

◆議員定数削減案の採決が行われ、賛成の立場を表明するため、起立する公明党区議団ら(中央) = 14日 区議会本会議

公明党中野区議団は12月14日に終了した第4回定例会に、議員定数を2減(42→40)する条例改正案を提出しました。新区長の誕生を受け、議会の側から「身を切る改革」に一步踏み出し、行政側の改革への自覚を促すのが狙いです。

しかし、同案は採決の結果、日本共産党議員団や立憲民主議員団などの反対多数で否決されました。

採決に先立ち、反対討論を行ったのは日本共産党です。「多様な区民の民意が適正に反映されるに足る議員定数の確保が必要不可欠」などと主張しましたが、近年、区議会の議員数は42人を下回ることが少なくありませんでした。

その原因の一端は、2014年に当時の共産党区議がツイッター上で暴言を吐き、辞職に追い込ま

れたことです。また11年の中野区議選では、共産党支援者が公職選挙法違反で逮捕され、共産党区議が引責辞職しています。今回の討論でこうした事実に対する言及は一切ありませんでした。

全国各地の議会でも「身を切る改革」が進められています。例えば、福岡県久留米市議会は、定数を2減(38→36)することを決めました。これを報じる9月21日付の毎日新聞によると、久留米市を含む人口30万人前後の全国37市区のうち、定数が最も多いのが中野区(42)です。

今回、中野区では、行財政改革に逆行する結果となりましたが、公明党区議団は議員一人一人が資質を磨き、どの地域よりも「区民のために働く議会、の実現へ取り組んでいく決意です。



久保 りか

区民委員会
中野駅周辺・西武新宿
線沿線まちづくり調査
特別委員会委員長



平山 ひであき

公明党議員団幹事長
総務委員会
少子高齢化対策調査
特別委員会



南 かつひこ

中野区議会副議長
子ども文教委員会
防災対策調査特別
委員会



甲田 ゆり子

区監査委員会
厚生委員会
少子高齢化対策調査
特別委員会



白井 ひでふみ

子ども文教委員会委員長
中野駅周辺・西武新宿
線沿線まちづくり調査
特別委員会



小林 ぜんいち

公明党議員団副幹事長
議会運営委員会
建設委員会
防災対策調査特別委員会



木村 広一

総務委員会
中野駅周辺・西武新宿
線沿線まちづくり調査
特別委員会



日野 たかし

厚生委員会副委員長
防災対策調査特別委員会
中野区消防団運営委員会
広報委員会

